



京都府立鴨沂高等学校同窓会

## 奨学金制度

2020(令和2年)年度 奨学生

## 寄稿文

### 「奨学金の使い道」

3年 A.K

私はいただいた奨学金を参考書や大学のためスーツなどに利用しました。普通ならこれらのものを購入するのに値段などを考慮しないといけないところを、それもあまり気にせず、自分が欲しいと思うものを購入することができました。特に、参考書について私は塾に通わず、自分でいろいろ調べ、情報を得ながら勉強に励んでいました。でも、そこで必要になってくるのが参考書でした。参考書は決して安くはなく、これを何冊も購入するとなるとかなりの負担になります。そこでこの奨学金を利用することによって、このような負担がなく、自分に必要な参考書を買って揃えることができ、さらに勉強が進むようになりました。個人的なことだけでなく、親の負担も減らしてあげられることがなにより嬉しかったです。受験というものにはそれに挑むものだけでなく、周りの家族にも金銭的な面や心的な部分に多大な負担をかけてしまうというのがつきものです。

それらの負担を少しでも減らせることができるのはとても助かりました。同窓会の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。正直、これまで何度も周りに流されて勉強から少しだけ逃げ出してしまいそうになったときもありましたが、それでもそんな自分に打ち勝って、努力を続けた結果がこれらにつながったと思っています。努力を続けることの大切さを改めて知り、自分もさらに成長することができたと思います。大学でも決して努力することを怠らず、この奨学金のように支えてもらえてることに感謝していきたいです。

## 「同窓会奨学金への感謝」

3年 0.S

今年度、一年間の同窓会奨学金を給付していただけて本当に感謝しています。

頂いた奨学金は主に受験勉強のための参考書や志望校の受験料として使わせていただきました。この奨学金のおかげで志望校の受験回数を増やすことができたため本番は落ち着いた気持ちで受験にのぞむことができました。毎日、自分のために働いてくれている両親の負担を減らせたとも思っています。三年間、学校の定期テストには全力で取り組んでいたため、こうした形で自分の努力を認めていただけたのはうれしく感じました。

自分は、第一志望の大学は一般入試での受験なのであと一カ月半の時間があり、今よりさらに努力し、勉強に集中しなければならぬのですが、家族だけでなく、たくさんの人達が自分達を応援してくださっているということを忘れず頑張っていきたいと思っています。

最後に、今回、このような形で応援してくださった同窓会の方々には本当に感謝しています。自分も鴨沂高校を卒業したら、自分のできる範囲で鴨沂高校の後輩に少しでも貢献できればいいなと思いました。

## 「奨学金をいただいて」

3年 K.A

この度は奨学金を支給していただき本当にありがとうございました。私は2年生の秋頃まで、行きたい大学や将来学びたい分野がはっきりと決まっておらず、周りの友達が志望校を決めていくのを見て焦りを感じていました。また、塾なども利用しておらず部活動との両立にも悩んでいました。そこで、私は勉強面において2つのことを心がけるようにしました。1つ目は登校前の勉強時間を確保することです。朝は家族も寝ているため集中して勉強に取り組むことができます。また、あさに勉強を取り入れることで脳が冴え、1時間目の授業にスムーズに取り掛かれるようになりました。そして、早寝早起きの習慣ができたことで、体調を崩すことが無くなりました。私が心がけたことの2つ目は、授業に全力で取り組むことです。部活動や学校行事にも力を注ぎたい私にとって、家庭で長時間の学習時間を確保することは困難でした。また、授業は先生方の大切だと思うところが最小限にまとめられたものだと思います。だからこそ、授業を大切にすることが、より効率の良い勉強につながると考えました。以上の2点を意識し、定期テストでは満足のいく点数を保つことができました。受験勉強は定期テストに比べて成果が見えづらく、不安になることもたくさんあります。ですが、部活動などを通して培った集中力や、先を見る力を生かして第一志望の大学に合格できるよう精一杯頑張りたいと考えています。また、奨学生に選ばれたことで自信がついたことが、よりいっそう勉強に励むきっかけになったと思います。会長の苧阪直行様は毎回の受け渡しの際にとっても温かい言葉をかけてくださり、勉強に対して前向きに考えることができるようになりました。今年で鴨沂高校からは卒業しますが、同窓会の皆様への感謝を忘れず、この3年間で学んだことを生かして、日々成長していきたいと思ひます。



「奨学金をいただいて」

K K